

# 八重山の世界環境に対応するサンゴ礁の再生とサンゴ礁を守る意識の向上

活動地域  沖縄県

つづける助成

3年目

実践

サンゴ畑のサンゴの生育率 **91.5%**

苗作り教室の参加人数 **35人**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **85%**



サンゴ畑に魚が棲みはじめている様子

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

報告会や苗作り教室など人を集めて開催するイベントを、新型コロナウイルス対策をしながらどのように開催するかを苦労した。

### ■ 工夫した点

新型コロナウイルス禍の中、予定よりも遅れてのスタートとなったが、スケジュールを上手く調整し、計画していた内容のほとんどの活動を行うことができた。

## 課題

八重山諸島では1970年代と比べるとサンゴの生育環境が50%以下になっており、このままではサンゴの回復が難しくなっていること。

## 目標

- サンゴ礁を守る意識の向上
- 八重山の世界環境に対応したサンゴ礁の再生のためのサンゴ養殖活動

## 活動内容と成果

- サンゴ苗の株分けや、サンゴ苗の移動を行った。水深の浅いA畑では、合計3,410本のサンゴ苗が完成し、3月末での生育率は、91.5%だった。A畑の合計養殖面積は、696㎡となった。水深の深いB畑では、合計387本のサンゴ苗が完成し、3月末での生育率は、83.7%だった。B畑の合計養殖面積は88㎡となった
- サンゴ苗作り教室では、例年よりも少人数での開催として、合計35人の参加者が集まった
- 関東圏の報告会では、29人の参加者が集まった



サンゴ苗作り教室の様子

## 全助成期間の活動を振り返って

サンゴの白化に強い苗を探すこと、白化の原因でもある水温上昇を避けた、水深の深い場所でのサンゴの養殖を開始できたことは、サンゴの養殖を続けていくにあたってとても意味のある活動になった。まだまだチャレンジの段階ではあるが、この3年間で培ってきた経験や、ネットワークをいかして今後も活動を続けていきたい。サンゴの苗作り教室の開催も毎年行うことで、子どもたちのサンゴへの意識の向上につなげることができた。



関東圏の報告会の様子

〒907-0004  
沖縄県石垣市登野城480-1  
電話：0980-87-5088  
E-mail：info@kanko-ishigaki.org  
HP：http://kanko-ishigaki.org/



## 今後の展望

サンゴの養殖畑を拡大していくことはもちろんだが、今あるサンゴの苗を成長させることで、数年後には産卵できる大きさになることが予想される。産卵することで、今のサンゴ畑の周りにも、自然のサンゴのコロニーが作られることも期待したい。企業CSRの獲得件数を今よりも増やしていくことで、今後の団体の自立にもつなげていきたい。